

1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

互いの立場を尊重し、いろいろなものの見方があることを理解し、寛容の心をもとうとする態度を育てる。

◆評価

自分の考えに固執することなく、相手の考えや立場を尊重した言動を心掛けようとする意識をもつことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（相互理解、寛容）

◆主な使用教材

・「言葉の向こうに」（文部科学省『私たちの道徳』中学校）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 インターネットのサイトについて理解する。 ◇ ファンサイトや掲示板のサイトを知っていますか。自分の考えや意見を書き込んだことはありますか。	○ 教材の内容である、インターネットのサイトについて共通理解を図る。
展開 35分	2 教材「言葉の向こうに」を読み、話し合う。 ◇ 必死で反論している加奈子は、どのような気持ちでしょう。 【中心発問】加奈子が忘れていた「一番大事なこと」とはどのようなことでしょうか。なぜ、それが大事なのでしょうか。	○ 加奈子の立場に立ち、感情的になっていることや、整理のつかない気持ちになっていることに気付かせる。 ○ 相手のことを理解しながら、言葉を発信することが大切であることに気付かせる。
終末 10分	3 今日の学習を振り返って、練習をする。 ◇ あなたが加奈子だとしたら、このあと、サイトにどのようなことを書くでしょう。	○ 相手の思いも推し量り、互いに理解しようとする態度を育てる。

板書例

○あなたが、加奈子だったらどうしますか。

- ・相手も自分も嫌な気持ちになってしまうから。
- ・相手を傷付けてしまい、自分も後になって後悔するから。
- ・相手から学び、自分を成長させることができるから。

○なぜ、その考えが大事なのでしょうか。

- ・サイトはみんなが見ているし、自分勝手な行動だった。
- ・自分が正しい、いけないことなんてしていないと思っていた。
- ・人それぞれ意見は違うはずだから、相手を尊重することが大切だった。

○加奈子が忘れていた「一番大事なこと」



